

2018年4月

COPD教育入院のご案内

慢性閉塞性肺疾患(COPD:Chronic Obstructive Pulmonary Disease)は喫煙習慣を背景に中高年に発症する肺の生活習慣病といわれています。

禁煙が何よりの治療ですが、禁煙が達成されていても、年齢とともに症状が出て全身に影響を及ぼすこともあります。

息切れのために運動不足となり、体力が低下、家に引きこもりがちとなり、食欲がなくなり、うつ状態になるという負のスパイラルに陥る恐れもあります。

日常生活動作を低下させないために早期より運動や栄養管理を行い、生活の質を落とさないことが大切です。

また、発癌のリスクや心臓その他の臓器への負担もかかることから、全身の併存症のチェックも望まれます。

当院では、比較的軽症～中等症(酸素療法などの必要がなく、ある程度の運動に耐えられる)COPD患者さんを対象に、COPDの現状を把握し、長期的な管理に役立つ指導を行う教育入院を開始いたします。

教育入院には、医師・看護師以外に理学療法士、作業療法士、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、心理士などがチームとなって関わります。

入院期間 : 約2週間

主なメニュー : 呼吸・運動リハビリテーション、
運動負荷試験

→退院後の個別の運動メニューの提案

胸部CT検査、肺癌腫瘍マーカー検査、

心臓超音波検査、栄養指導、

骨密度検査、認知機能検査、

うつ・不安スクリーニング、

排尿障害のチェック、

服薬・吸入指導、ワクチン接種(自費)など

費用 : 健康保険適応 (本人負担3割の場合約15万円)

入院前に外来を受診いただく必要があります
お問い合わせ 湘南慶育病院 呼吸器内科